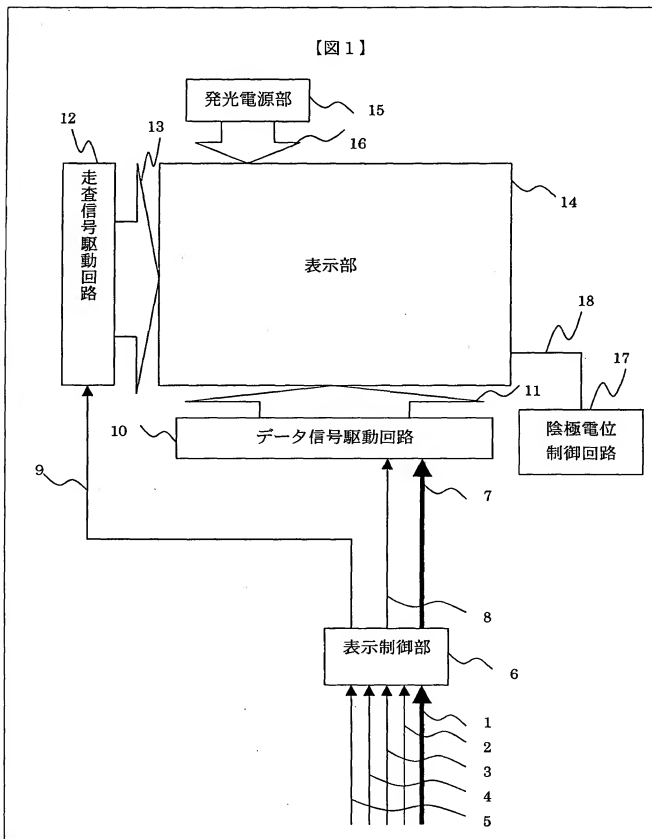


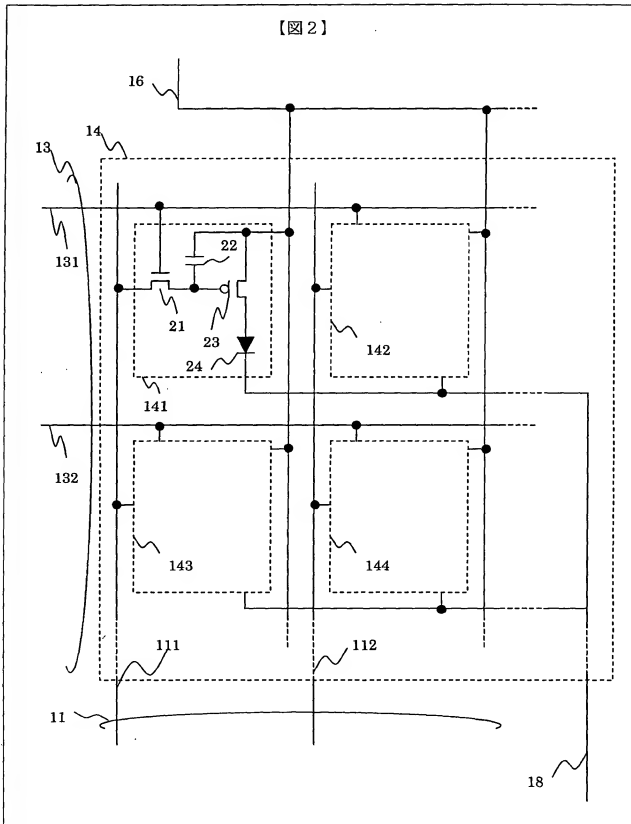
【図1】



作成上の注意

1. 発明の概要を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子化用端末のイメージリッド(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 前面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦横にプリントする。
12. 表、表式も上記に準じて作成する。

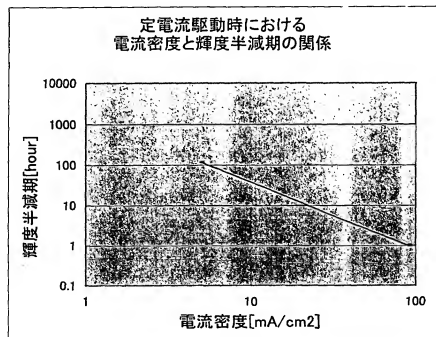
【図2】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引き入れて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×(横148mm))に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願用紙のイメージリサイズ(200倍)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 前面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦向きにプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

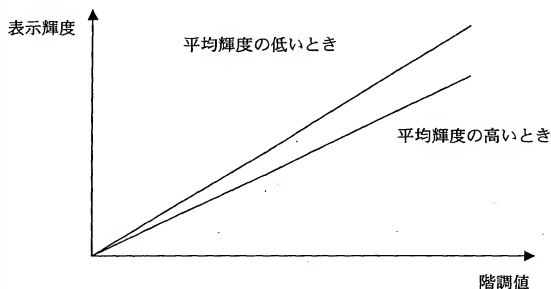
【図3】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分がある2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦 215mm×(横) 148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 図内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願審査のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、裏、表式も上記に準じて作成する。

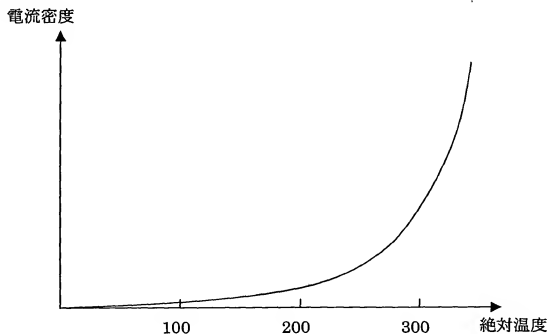
【図4】



作成上の注意

1. 発明の特長を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アルファベット・数字)は引出線を用いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願用紙のイメージング(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

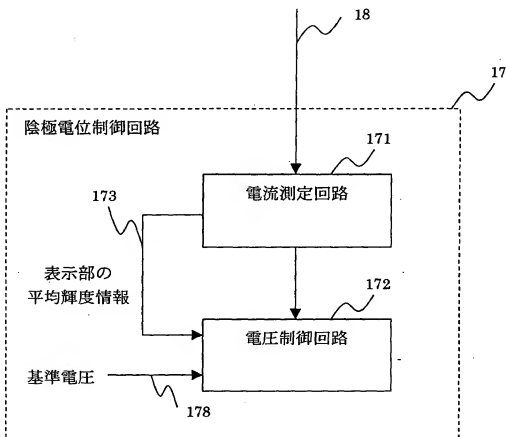
【図5】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは図方向に分け、各図間の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図6】



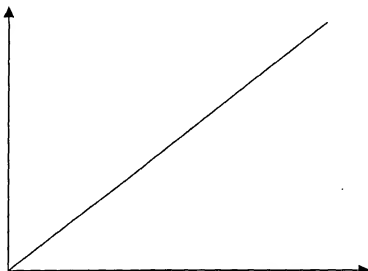
作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線をつけて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×(横148mm))に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリゾ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦向きにプリントする。
12. 表、表式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

【図 7】

表示部の
平均輝度情報 173
の信号電圧



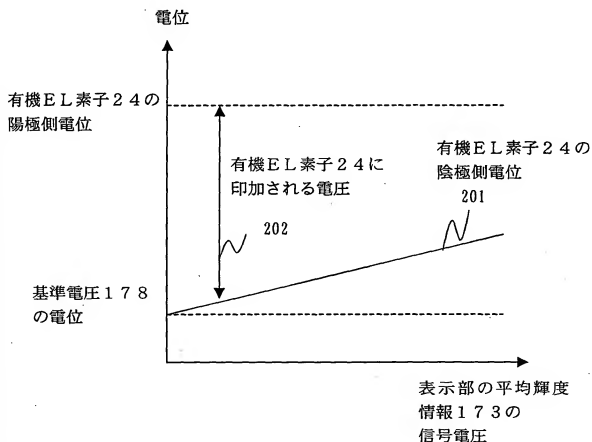
陰極電流線 18 の
電流量

作成上の注意

1. 発明の特長を最もよく表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上端に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号 (アラビア数字) は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内 (縦 215 mm × (横 148 mm) に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上端中央部に記入する。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を 20 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願従来のイメージリターナ (200 dpi) で読み込まれるため次の点に配する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく (12 ポイント程度以上) する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦横にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

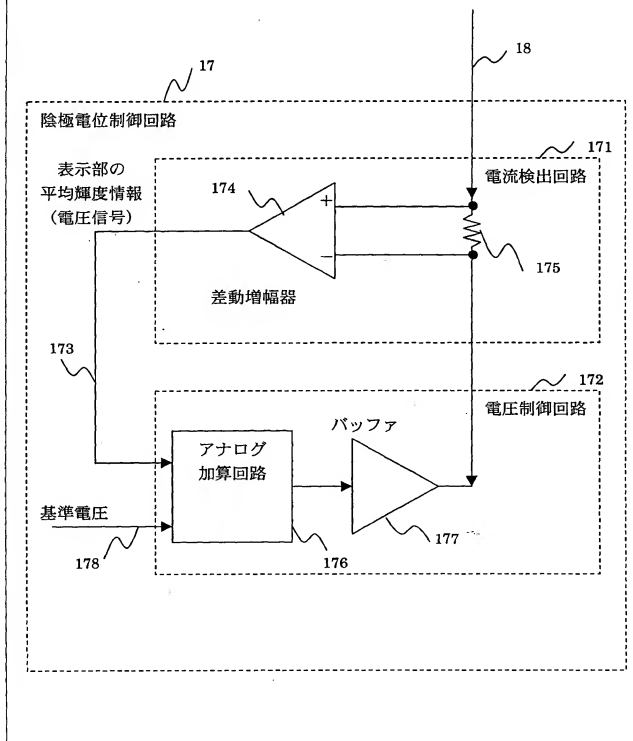
【図8】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように図解番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(図2: 15mm×(図1: 4.8mm))に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願図面のイメージリージ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 図、表、式も上記に準じて作成する。

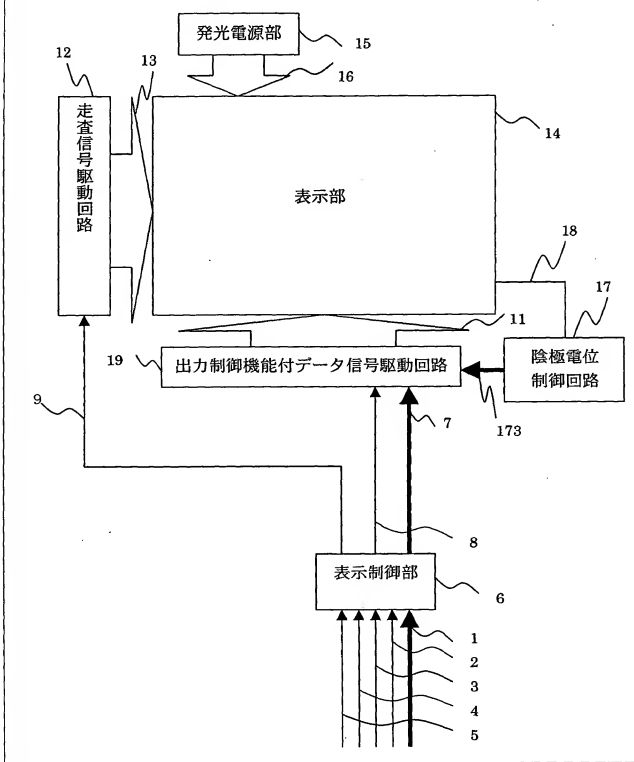
【図9】



作成上の注意

1. 図の形状を最も良く表す図を1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように接続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○印で囲まない。また符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×横148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に記入する。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、裏、裏式も上記に準じて作成する。

【図 10】

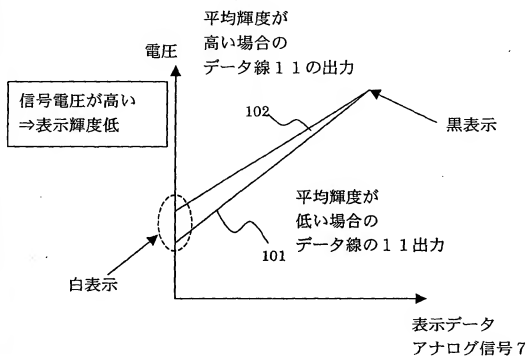


作成上の注意

1. 発明の特長を最もよく示す特長とする。
2. 各型ごとに、図の1から図10、図11との区別番号を付し、番号欄に記入する。
3. 中心図は記入しない。
4. 特許(特許)のラビダ番号は引出部を引いて記入する。
5. 特許は1枚で図面したい。また特許はできるだけ大きくする。
6. 同一部分から2以上の図面がある時は、同一の番号を各図面に付ける。
7. 図面は上図が内径(215 mm×(厚)14.8 mm)に納められ、図1、図2などの表示図面の上側に中央部に入る。
8. 枠内二つ以上の図面があるときは図面方式で、各図面の寸法は20 mmの点になる。
9. 図面は電子出部部来のイメージング(20 0 0)で提供されたものである点に注意する。
10. 図面の文字、特許番号はできるだけ大きく(12ポイント程度)に記入する。
11. 前面を示す特許は、ハッチングを施す。隠す部分はならない。
12. 図面はA4サイズの紙に縦向きにプリントする。
13. 表、表裏の図面に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

【図 1 1】



作成上の注意

1. 発明の特長を最もよく表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号 (アラビア数字) は引出線を引いて記入する。
5. 符号は□枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内 (横) 21.5 mm × (縦) 14.8 mm に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2.0 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーグ (200 dpi) で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく (1.2 ポイント程度以上) する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、図、数式も上記に準じて作成する。

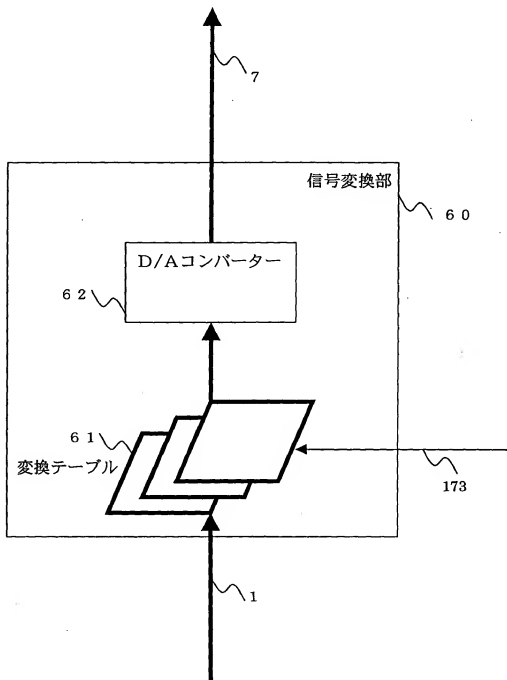


【图 12】

作成上の注意

- | | |
|---|--|
| 1. 発声の音節を最もよく表す符号を1つにしよう。 | 9. 枠内には二つの数字を入れるとその縦方向の割合、左側の数字を2 0 mmの点とする。 |
| 2. 各音節ごとに、図の左側に1、図ごとに2の番号を1から5まで連続番号をせし、番号欄に記入する。 | 10. 図内には電子出版製本のイメージサイズ(2 0 0 mm×2 0 0 mm)で設定された点の点に記入する。 |
| 3. 図の右側に記入しない。 | a. 図面の中心。符号はできるだけ大きく(1 2 ポイント程度)にしよう。 |
| 4. 符号(ラベル)の数字は引出線を用いて記入する。 | b. 図面の文字や符号には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。 |
| 5. 符号は図の横でよい。また符号はできるだけ大きくする。 | 11. 図面はA4サイズの用紙に印刷する。 |
| 6. 同一部分が2以上の音節にある時は、同一の符号を各音節に付ける。 | 12. 度、長さも式も表す単位はすべて作成する。 |
| 7. 図面は上記の用紙(図2 1 5 mm×4 8 mm)に納める。 | |
| 8. 図1、図2の各表示図の左側中央部に入れる。 | |

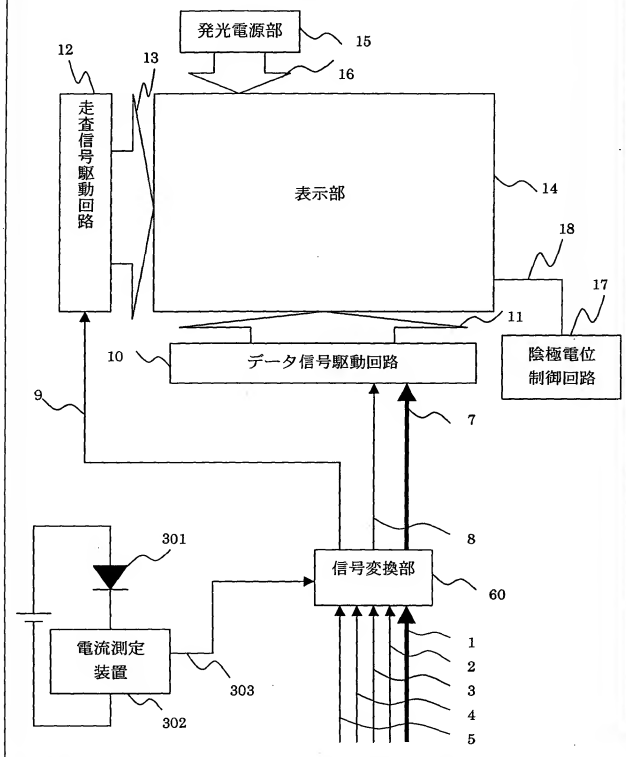
【図13】



作成上の注意

1. 発明の特征を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように図題番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線をつけて記入する。
5. 符号は○で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦:215mm×(横:148mm))に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 図、表、図式も上記に準じて作成する。

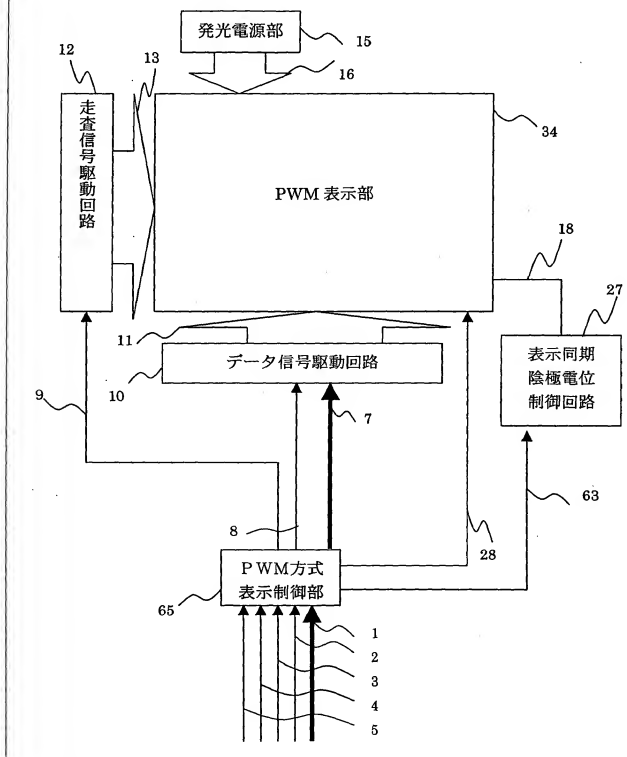
【図14】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
5. 符号は□枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願原本のイメージリード(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 面、款式も上記に準じて作成する。

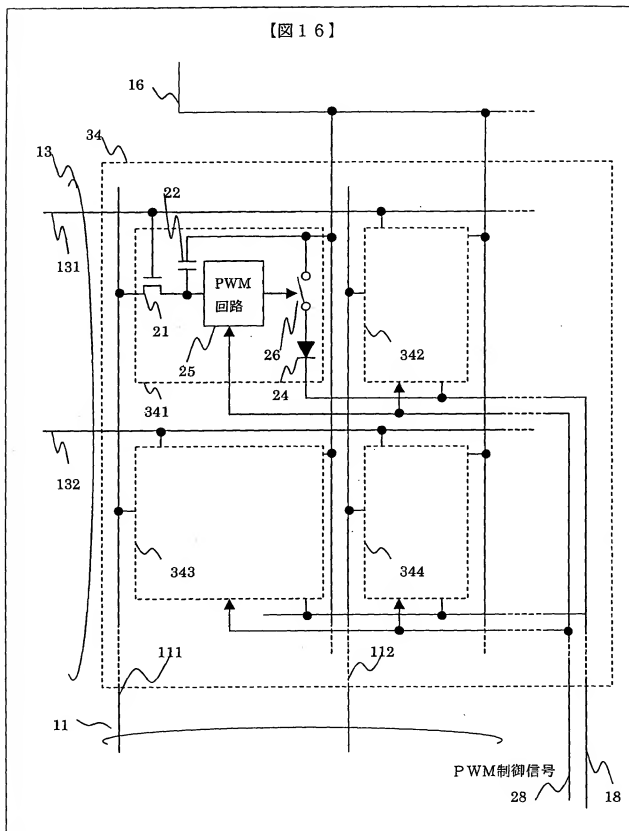
【図 15】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心幅は記入しない。
4. 符号 (アラビア数字) は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内 (縦 215 mm × 横 148 mm) に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ (200 dpi) で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく (12 ポイント程度以上) する。
 - b. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦向きにプリントする。
12. 表、表式も上記に準じて作成する。

【図 16】

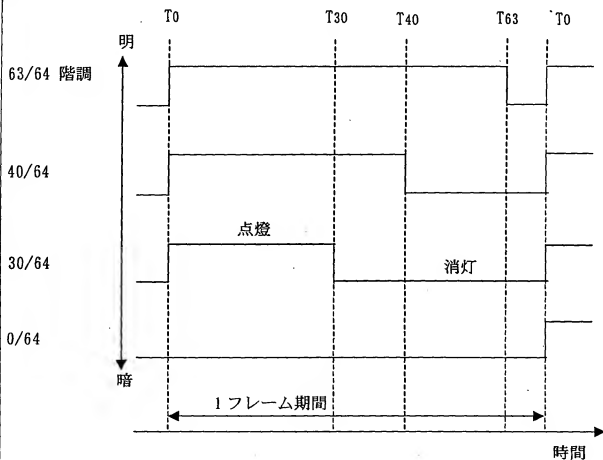


作成上の注意

1. 発明の特徵を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線をつけて記入する。
5. 符号は□枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×(横148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入る。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは横方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願請求書のイメージリーダ(2004μ)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 注、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

【図 17】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように図線番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は□外で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦図 21.5mm×(横図 14.8mm))に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側に中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願用紙のイメージリサイズ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの図紙に縦向きにプリントする。
12. 図面は、図1、図2に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

【図 1 8】

データ信号電圧	画素点燈時間
V ₆₃	T ₆₃
V ₆₂	T ₆₂
⋮	⋮
V ₂	T ₂
V ₁	T ₁
V ₀	T ₀

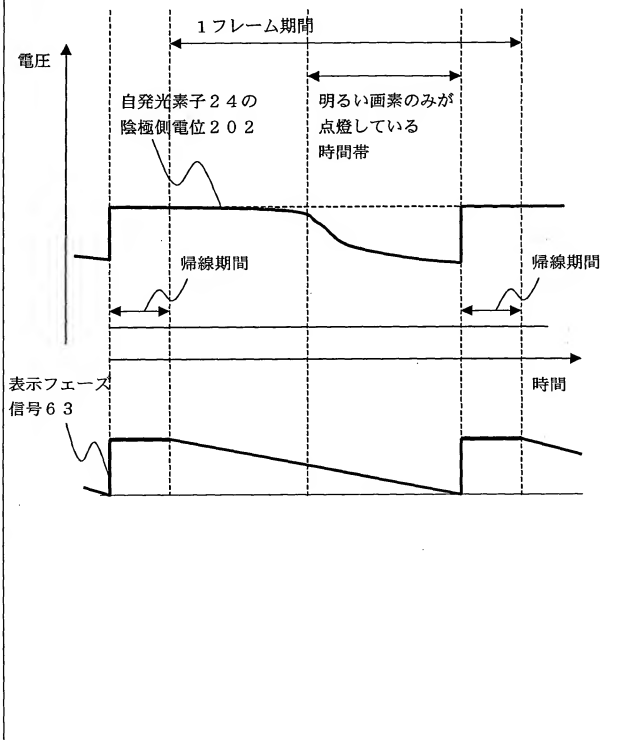
$$V_0 \leq V_1 \leq V_2 \leq \dots \leq V_{62} \leq V_{63}$$

$$T_0 \leq T_1 \leq T_2 \leq \dots \leq T_{62} \leq T_{63} \leq 1\text{frame}$$

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように図題番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×(横148mm))に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリード(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図19】

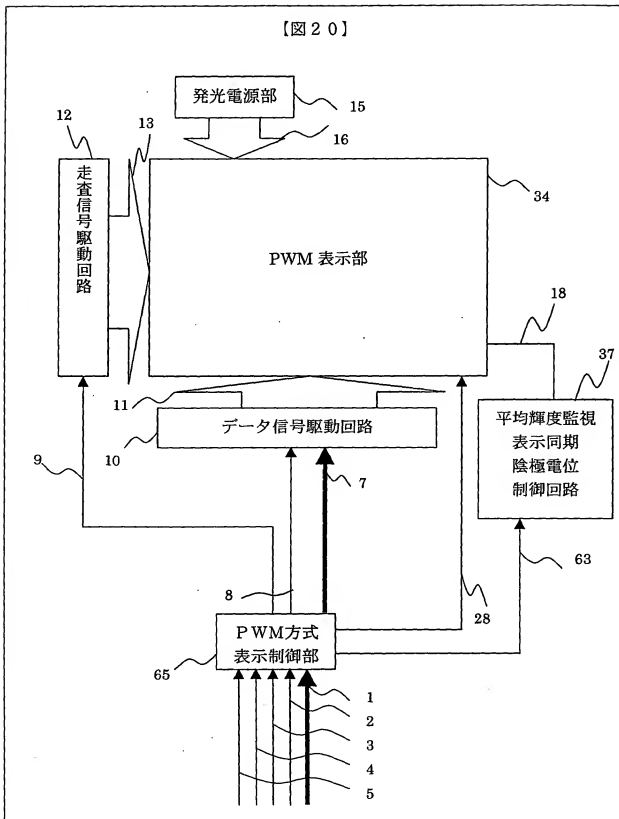


作成上の注意

1. 発光の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように図例番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は□枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(図2 15mm×(図1 14.8mm))に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願図面のイメージリサイズ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦向きにプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

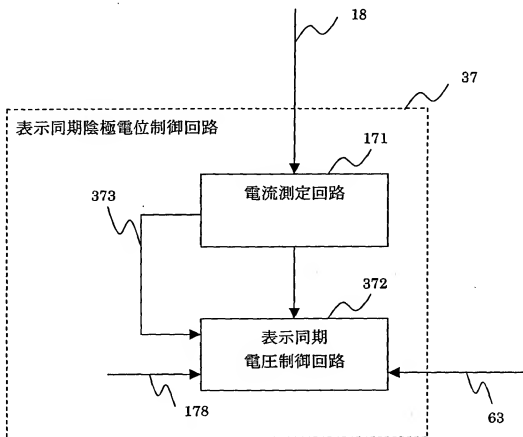
【図 20】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まないと、また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(図2 15mm×(図1 48mm))に納める。
8. 図1、図2などの表紙は図の上側中央部に記入する。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリゾ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縮小してプリントする。
12. 表、裏、数式も上記に準じて作成する。

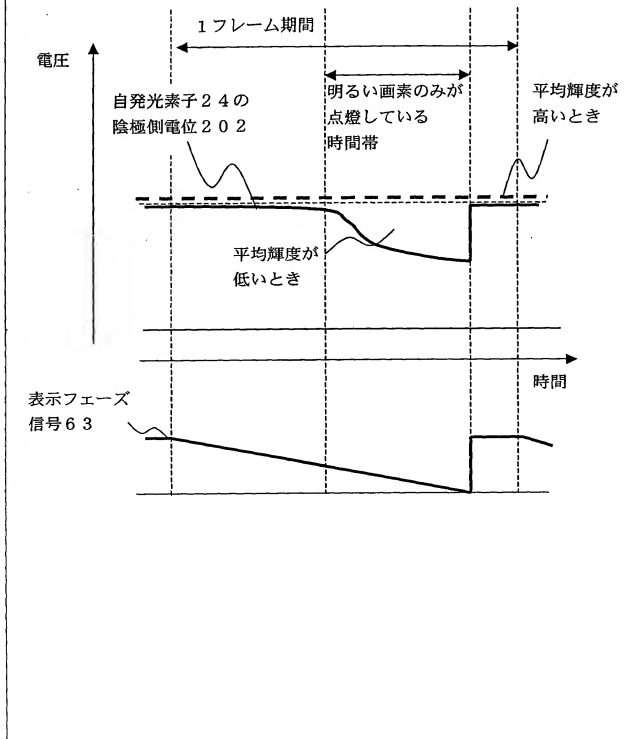
【図 2 1】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように接続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号 (アラビア数字) は引出線を引いて記入する。
5. 符号は□枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内 (縦 215 mm × (横) 148 mm) に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2.0 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ (200 dpi) で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく (1.2 ポイント程度以上)。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、表式も上記に準じて作成する。

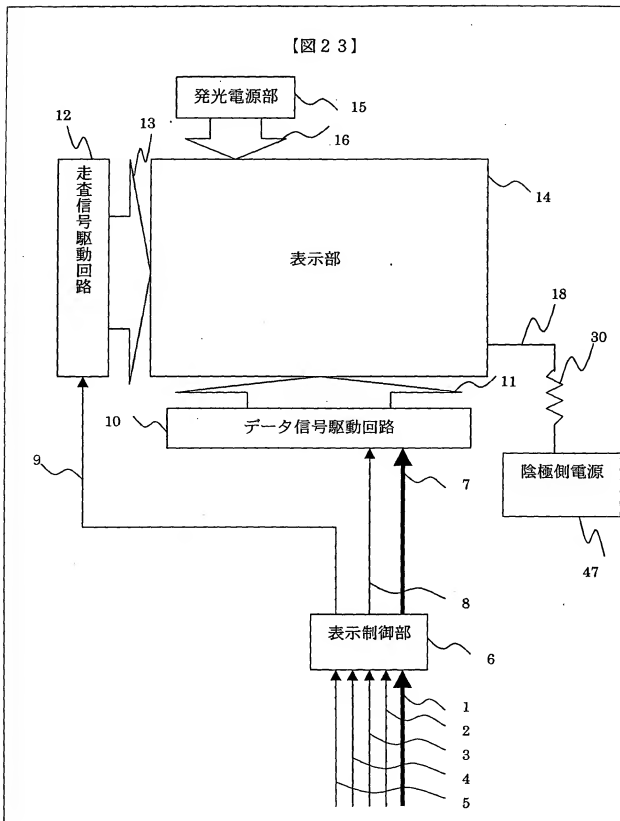
【図 2 2】



作成上の注意

1. 発光の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
5. 符号は□枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(図 2 15mm×(横)14.8mm)に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2.0mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリゾ(200 dot)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 図面を添す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

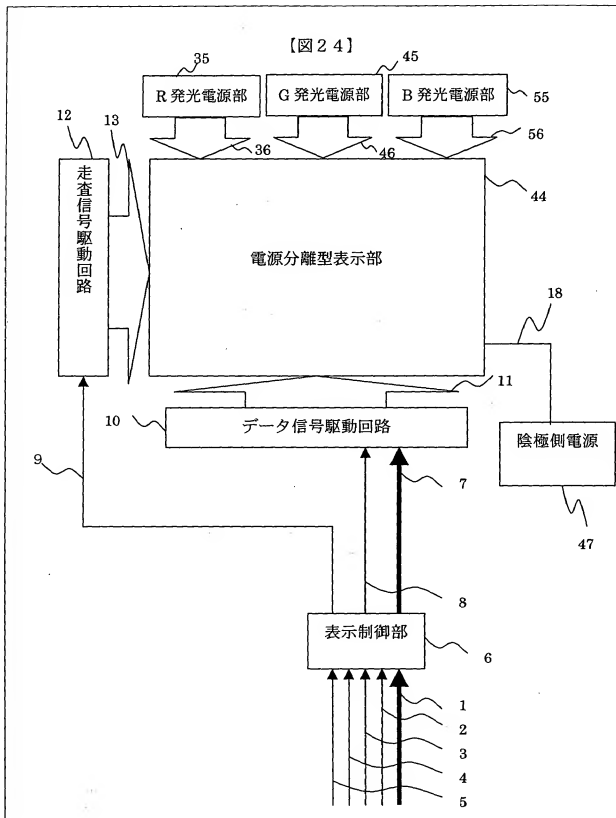
【図 2 3】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は□枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×(横148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に記入する。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願用紙のイメージリサイズ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦書きにプリントする。
12. 図. 表. 式も上記に準じて作成する。

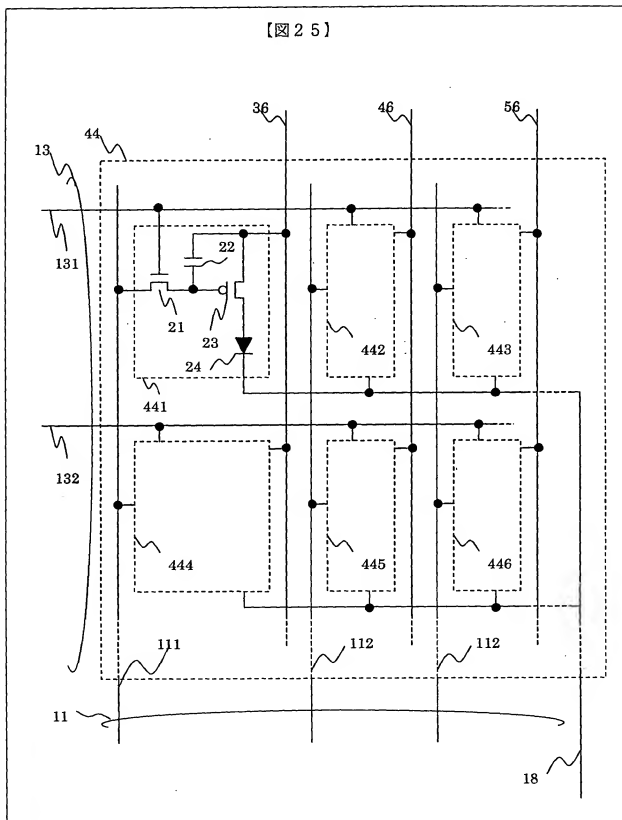
電子出願図面用紙 for windows



作成上の注意

1. 発明の特長を最もよく表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アルピス数字)は引出線を用いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦: 215 mm × (横: 148 mm))に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側に中央線に入る。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を 2.0 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願用紙のイメージサイズ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図25】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号はO形で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上段枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図間の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願図面のイメージリダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦向きにプリントする。
12. 表、裏、版式も上記に準じて作成する。